

ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

トッポカン

～笛吹峠から岩殿へ～

(東武東上線 武蔵嵐山駅 ～ 岩殿観音)



晴れ渡る青空、うららかな春の日差し。4月24日の部会当日は絶好の歩き日和となりました。

家の中にじっとしてられず、春の陽気を満喫するために、41名もの参加者が集まりました。

今回は、歴史と自然を満喫するコースを歩きます。

途中には木曾義仲こと源義仲の生誕地と、木曾義仲のお父さん、源義賢のお墓の近くを通ります。

なお、源義仲とならんで源義高の生誕地であると記されています。何者なのかと疑問の声もありましたが、源義高は木曾義仲の息子。この地域が、源氏にとって、重要な場所であったことを物語ります。木曾義仲と埼玉県の意外なつながりに、驚く人もいました。





立派な案内板と看板に注目が集まりました。



しかし、橋の方は小さかったです。



ネイチャーの縁はどんな橋でも切れません。

途中「縁切橋」を通ります。その名の由来は、征夷大將軍の坂上田村麻呂が、任地にやってきた奥さんを追い返したというもの。はるばる遠くまでやってきた奥さんを追い返すなんてひどい人だという声もありました。

一方で、今の男性では、奥さんが怖くてそんなことはできないなんて声も…？



ノスリの旋回をみんなで観察。



何の巣なのでしょう？

道中で、ノスリのペアがそろって旋回しているのを発見。ノスリ達の空のデートを一目見ようと、みんなの視線が空に集まりました。

また、道中にあった謎の鳥の巣の主をめぐり、様々な意見が飛び交いました。シジウカラ、モズ、ウグイスなど、様々な意見がありましたが、何の巣なのでしょう？



笛吹峠に到着です。



ジュウニヒトエの可憐な姿。

笛吹峠に到着です。当地でジュウニヒトエの群落を発見。花を踏んでしまわないように気を付けながら、その可憐な姿をみんなで観賞しました。



今回のお昼休みは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の地球観測センター。無料公開されている地球観測展示室での様々な展示を休憩時間に堪能しました。

恒例の認定式では2名の方に認定証が授与されました。おめでとうございます！



急な階段を注意しながら降ります。



樹齢何年？岩殿観音の大イチョウ

転げ落ちそうとの声もあった急な階段を下りて、岩殿観音に到着。「いつからあるのだろう」と驚きの声がいくつも挙がるほどの大イチョウがみなさんをお出迎え。境内を見学し、お参りの後に解散です。本当にお疲れ様でした。